

2009年9月26日(土)

9:00a.m.-9:15a.m. スペシャルイベントホール、ローレン・オイカワによる歓迎挨拶、日程説明

9:15a.m.-10:15a.m. サツキ・イナ博士のワークショップ 「世代間の対話」



イナ博士はマリッジ・ファミリーセラピストで、コミュニティトラウマの専門家です。同氏はカリフォルニア北部のツールレークの収容所に収容されていました。日系アメリカ人で第二次大戦中収容されていた人たちのためにグループ・ワークショップを行っています。この仕事の成果はドキュメンタリーフィルムの“収容所の子供たち”に結実しています。この作品はPBSを通じて全米に放映されました。同氏はカリフォルニア大学サクラメント校教育学部の名誉教授で、現在サクラメントで開業しています。

10:15 a.m.-10:30 a.m. 午前の休憩

10:30 a.m.-12:00 p.m. 小グループの集まり

グループ

皆さんに和やかな雰囲気の中で心置きなく体験を語っていただけるよう努力します。それぞれのグループでは10人以内の収容体験者の方に話していただきます。参加者の名札は色によってグループ分けされます。名札の色でどのグループに行くかわかりやすいよう、会場に大きくて見やすい一覧表を掲示します。

12:00 p.m.-1:00 p.m. スペシャルイベントホール、**昼食**

・講演者: 未定

1:00 p.m.-3:00 p.m. 小グループ(続き)

3:00p.m.-3:15p.m. 午後の休憩

3:15 p.m.-4:15 p.m. 小グループ(続き)

4:15 p.m.-5:00 p.m. スペシャルイベントホール、ローレン・オイカワによるまとめ、翌日(27日)の予定説明

5:00 p.m.-5:30 p.m. 休憩

5:30 p.m.-8:30 p.m. スペシャルイベントホール、**夕食会**

・私たちの先達への謝辞

・ハリー・アオキによるエンターテインメント

2009年9月27日(日)

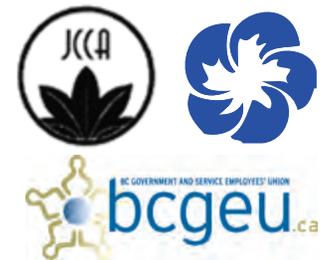
9:00 a.m.-10:00 a.m. スペシャルイベントホール、**話し手と聞き手の対話**、ローレン・オイカワ司会。

10:00 a.m.-10:15 a.m. 休憩

10:15 a.m.-11:30 a.m. 今後の活動への展望

11:30 a.m.-12:00 p.m. 会議のまとめ

HONOURING OUR PEOPLE:
STORIES OF THE INTERNMENT



会議プログラムの説明

日系人を顕彰する会議
—収容体験を語る—

2009年 9月25日—9月27日
日系ヘリテージセンター

NATIONAL NIKKEI HERITAGE CENTER
6688 SOUTHOAKS CRESCENT
BURNABY BC V5E 4M7

「日系人を顕彰する会議: 収容体験を語る」は全カナダ日系人協会とグレーターバンクーバー日系カナダ市民協会が主催する全国会議です。

この会議は第二次大戦中と大戦後、人種差別、政府による人権の制限やコミュニティーの破壊など数々の困難を克服して、今日の繁栄の基礎を築いた日系カナダ人の世代に捧げられます。

この会議の目的は生存者の方がたに経験を語って頂く場を提供することです。そして、その経験を共有し、どのように次世代に継承していくかを学ぶことにあります。

この会議の焦点は体験者の中でも高齢で収容時代のことを鮮明に記憶している方々ですが、同時に若い世代の日系カナダ人にも参加を期待しています。収容を経験していない日系人や日系カナダ人でない方の出席も歓迎します。

プログラム

様々な家族の体験談を集めて、私たちのコミュニティーの歴史を作りましょう。

会議のプログラムは収容経験者が少人数のグループで体験を語るという形式で行われるよう企画されています。参加者の方にはグループを選んでいただけます。また参加者の中で一对一の形式で話したいと希望される方には、それが可能になるようにするよう手配いたします。

それぞれのグループの進行役が少人数グループの討論を進めていきます。体験を聞いた後、話し手の中で聞き手と話し合っても良いと思われる方には聞き手との質疑応答、対話をお願いします。この討論は9月26日に行われます。

私たちは記録を残すことに価値があると考えます。なぜなら私たちの家族の物語は次世代の人たちだけでなく、日系人コミュニティーの他のメンバー、例えば戦後移住者の方々にも役立つものと思われま。それに加えて、様々な民族的バックグラウンドを持つすべてのカナダ人にとっても有益だと考えます。

資料の保存はオーディオテープやビデオテープを含みます。テープまたはビデオに記録することを許可していただける場合、それぞれの話し手には体験談を話す前に同意書にサインをお願いします。

私たちはシニアの方々のご要望にできるだけお応えしようと思っています。すべてのご要望にお応えできないかもしれませんが、最善を尽くします。

プログラム日程

3日間のプログラムの詳細は以下の通りです。

2009年9月25日(金)

5:00 p.m. – 8:30p.m. スペシャルイベントホールにて受付

日系センターでBCの収容所など移動先の写真などを展示します。収容に関する写真をお持ちでしたら、ぜひご持参ください。写真は展示用にその場でコピーしてお返しいたします。そこでは戦後連絡が途絶えた方々と再会され、楽しいひと時を過ごしてください。6時には、ロビーでは茶菓を用意しています。

7:00 p.m. – 8:00 p.m. リズ・ヌノダ作による

劇「リックとネッド」



「リックとネッド」が舞台上で上演されます。保守的な日系3世の主人公と、型破りな叔父との再会についての物語です。作家のリズ・ヌノダは日系二世の父親からロードキャンプとベイファームでの経験を聞き、父の経験を保存し伝えていくことが大事だと考えています。

8:00 p.m. – 8:30 p.m. ローレン・オイカワによる一日のまとめ



ローレン・オイカワは四世。彼女の家族は19世紀末から20世紀初めに移住。現在、BCGEU(BC州政府公務員労働組合)副会長。ローレンは同労働組合執行部に選出された最初のアジア系カナダ人。

執行部に選出された最初のアジア系カナダ人。